



菊池南中学校第1学年 国語科 学習構想案

日 時 令和7年1月15日(水) 第5校時
 場 所 多目的ルーム
 指導者 教諭 新納里恵

1 単元構想

| | |
|------------|---|
| 単元名 | 7 表現を考える「話し合いで理解を深めよう グループディスカッション」 (出版社名 東京書籍「新しい国語1」P.193~P.198) |
| 単元の目標 | (1) 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それを使うことができる。〔知識及び技能〕 (2) イ (2) 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。〔思考力・判断力・表現力等〕 A (1) ア (3) 話題や展開を捉え、互いの考えの共通点や相違点に着目して分類・比較しながら話し合い、互いの意見を結び付けて考えをまとめることができる。〔思考力・判断力・表現力等〕 A (1) オ【C 批判的に考える力】 (4) 話題に関する互いの考えの共通点や相違点に着目しながら進んでコミュニケーションを取り、言葉がもつ価値に気付くとともに、思いや考えを伝え合おうとすることができる。〔学びに向かう力・人間性等〕【E コミュニケーションを行う力】 |
| 単元を通じた学習課題 | 新入生へ向けて、菊池南中のよさを伝えよう。 |

2 目指す生徒の姿及び生徒の実態

| 単元・題材終了時の生徒の姿及び学校教育活動を通して重点的に育成を目指す資質・能力 (ESDの視点) | 本単元で働かせる見方・考え方 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|-----|------|-----|-----|-----|----|----|----|----|------|-----|-----|-----|-----|----|----|----|------|-----|-----|-----|----|----|----|----|------|-----|-----|-----|-----|----|----|
| 日常生活の中から話題を決め、考えを伝え合いながら学校のよさを一つにまとめようとする生徒 【C 批判的に考える力】 【E コミュニケーションを行う力】 | 話題や展開を捉え、互いの意見を結びつける共通点や相違点に着目して、言葉への自覚を高めること。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生徒の実態 (単元・題材の目標につながる学びの実態) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>■本単元・題材の学習に関する基礎・基本の定着状況及び意識の状況</p> <p>(省略)</p> <p>■自分の学ぶ姿に関する意識の状況 (調査人数30人 令和6年12月10日実施)</p> <p>①授業中、「できた」「わかった」と思ったことがある。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>はい</td> <td>まあまあ</td> <td>あまり</td> <td>いいえ</td> </tr> <tr> <td>26人</td> <td>4人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </table> <p>②自ら進んで、わからないところを理解できるように取り組んでいる。(主体的に学ぶ)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>はい</td> <td>まあまあ</td> <td>あまり</td> <td>いいえ</td> </tr> <tr> <td>17人</td> <td>13人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </table> <p>③授業中、友だちと対話をしながら「学び合い」で学習内容が理解できたことがある。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>はい</td> <td>まあまあ</td> <td>あまり</td> <td>いいえ</td> </tr> <tr> <td>24人</td> <td>6人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </table> <p>④自己評価をすることで、次も頑張ろうと意欲が高まることもある。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>はい</td> <td>まあまあ</td> <td>あまり</td> <td>いいえ</td> </tr> <tr> <td>17人</td> <td>12人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> </table> <p>■考察</p> <p>本単元に関する設問の結果と誤答パターンを分析すると、相手の意図を踏まえて話を聞いたり、適切な質問をしたりに課題が見られる。これらのことから、話し合う活動を十分に行い、相手の意図を捉え活発に質問し合う時間を設定する必要があると考えられる。さらに、「自分の学ぶ姿に関する意識の状況」結果からは、「できた」、「わかった」という実感を持ち、対話による学び合いを活発に行っていると感じているが、主体的に学ぶ姿勢においてはまだまだ高める余地があると考えられる。自己評価や振り返りの視点を明確に示し、適切に振り返ることで、次も頑張ろうという意欲をさらに高めさせる必要がある。</p> | | はい | まあまあ | あまり | いいえ | 26人 | 4人 | 0人 | 0人 | はい | まあまあ | あまり | いいえ | 17人 | 13人 | 0人 | 0人 | はい | まあまあ | あまり | いいえ | 24人 | 6人 | 0人 | 0人 | はい | まあまあ | あまり | いいえ | 17人 | 12人 | 1人 | 0人 |
| はい | まあまあ | あまり | いいえ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 26人 | 4人 | 0人 | 0人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| はい | まあまあ | あまり | いいえ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17人 | 13人 | 0人 | 0人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| はい | まあまあ | あまり | いいえ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 24人 | 6人 | 0人 | 0人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| はい | まあまあ | あまり | いいえ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17人 | 12人 | 1人 | 0人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

3 学習計画及び評価計画

| 学習計画及び評価計画（5時間取り扱い 本時4/5） | | | |
|---------------------------|----------|---|--|
| 過程 | 時間 | 学習活動 | 評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価基準」 |
| 課題設定 | 1 | ○学習目標を確認し、学習の流れをつかむ。 ○学級全体でどんな話題が考えられるかを出し合い、話し合って選択する。 | ★【思・判・表①】（ロイロノート） ○目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、話し合う内容を検討している。 |
| 課題解決 | 3 ◎本時 | ○自分の体験を振り返り、具体的な良さをロイロノートの付箋に書き出す。 ○話し合いながら、ロイロノートを使って付箋を整理する。 ◎話し合いを行いながら、班で決めた話題の良さを一言でまとめたり、具体的な部分をまとめたりする。 | 【主】（ロイロノート） ○積極的に話題に関連する体験や考えを出し合い、学習の見通しを持って、考えをまとめるために話し合おうとしている。 ★【知・技】（ロイロノート） ○比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方を理解し、情報を整理している。 ★【思・判・表②】（ロイロノート） ○話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。 |
| まとめ | 1 | ○班ごとに選択した話題についてまとめた良さを発表する。 ※生徒会執行部の生徒、もしくは生徒会担当の職員に発表を聞いてもらう。 ○話し合いのときに気をつけたことや、話し合いを通して気づいたことを伝え合う。 ○学習の振り返りを行う。 | ★【主】（ロイロノート） ○積極的に話題に関連する体験や考えを出し合い、学習の見通しを持って、考えをまとめるために話し合おうとしている。 |

| 生徒と共有する ESD の具体的な評価基準 | |
|---|---|
| ESD の視点 : 【C 批判的に考える力】 【E コミュニケーションを行う力】 | |
| A | B |
| 話し合って考えをまとめるために、言葉による見方・考え方を働かせながら、互いの考えの共通点や相違点に着目して発言を結びつけたりするなど、発言を吟味した上で、さらに質問したりより良い案を提案したりするなど進んでコミュニケーションを取っている。 | 話し合って考えをまとめるために、言葉による見方・考え方を働かせながら、互いの考えの共通点や相違点に着目して自分と他者の発言を結びつけたりするなど、発言を吟味しながら進んでコミュニケーションを取っている。 |

4 研究テーマとの関連

| |
|---|
| <p>【研究テーマ】 「できた」「わかった」を通して主体的に学ぶ生徒の育成 ～ESDの視点を踏まえた授業づくりと支持的風土づくりの適切な評価を通して～</p> <p>① 【「わくわく」が生まれる単元デザインの工夫】について 「来年度入学する新入生に向けて、菊池南中のよさを見つけ、そのよさを伝える」という学習課題を設定し、実際にまとめたよさは新入生説明の際に活用することを伝える。学習を通して自己有用感を高め、「わくわく」につなげたい。</p> <p>② 【生徒が自己選択する場面の設定】について 学習課題に基づき、どの部分を紹介するか、個の考え、班の考えをまとめながら自己選択させたい。また、まとめ方においても、付箋や思考ツールなど、ロイロノートを活用する方法を自己選択させる場を設定したい。</p> <p>③ 【考えを参照・共有できるようなICT活用の工夫】について 考えを班で練り上げる過程において、他の班のまとめ方を参照・共有できる状態にし、互いに話し合い方やICTの活用方法について積極的に学び合える学習環境を作っていきたい。単元の中でそのような学習環境を繰り返し設定することで、よりよい学び方を身に付けさせたい。</p> <p>④ 【ESDの視点を踏まえた評価の工夫】について 本単元ではESDの視点【C 批判的に考える力 E コミュニケーションを行う力】において評価基準を明確にし、生徒と単元導入時に共有することで生徒の学習意欲を高めたり、深まりを実感できたりすることにつなげたい。 ※ESDの視点についてはリーフレット参照</p> |
|---|

5 本時の学習（4 / 5 時間目）

(1) 目標

話題や展開を捉えながら、班で互いの考えを結び付け、菊池南中のよさについて一言でまとめることができる。

(2) 展開

| 過程 | 時間 | 学習活動（生徒が活躍する姿） （◇予想される生徒の発言・反応） | 指導上の留意事項（教師の指示と評価） （学習活動の目的・意図、内容、方法等） |
|----|-----|---|---|
| 導入 | 5分 | 1 単元を通した学習課題とESDの視点を確認する。 2 前時を振り返り、めあてを確認する。 ◇ 前の時間は各自が考えたよさを出し合って、付箋を整理したな。 | ○振り返る際には学習リーダーを中心に進めるようにし、生徒の主体的な学びを促すようにする。 |
| | | 【めあて】班で話題について互いの考えを結び付け、菊池南中のよさを一言でまとめよ | |
| | | 【学習課題】互いの考えを結び付けて一言でまとめるには、どのように意見を整理すると良いだろうか。 | |
| 展開 | 35分 | 3 見通しを持つ。（課題をどうやって解決すればよいか考える。） ◇ 何のために何を話し合わないといけないかな。 ◇ 班のみんなの意見をもう一度確認して整理して、全員の意見をもとにまとめないか。 4 課題解決を目指す。 ◇ 意見ごとに付箋の色を変えると見やすいかな。 ◇ 他の班はどんな風に話し合っただめていたのかな。 ◇ よさを一言でまとめるには、どんな表現が当てはまるかな。 ◇ 具体的なよさはたくさん例を出せると新入生に伝わりやすいよね。 【期待される学びの姿】 話題や展開に応じて、互いの発言を結び付けながら考えを一つにまとめようと話し合いをしている姿。 | ○前時の学習を振り返り、何について、どのような目的で話し合っているのか、本時ほどの段階なのかを意識できるようにする。 ○課題をどうやって解決すればよいか考える。 【課題解決に向かうためのキーワード】 共通点・相違点・抽象化・具体化など ○お互いの考えを理解するためによく分からない点は質問したり、確認したりするとよいことに気付かせたい。 【具体的評価規準】 ★【思・判・表②】（ロイロノート） ○話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。 【到達していない生徒への手立て】 ○話し合いに参加する際の質問や返答の仕方を示した基本話型を準備し、ロイロノートで参照できるようにする。 ○キーワードを踏まえ、話し合う際に効果的だった発言などを振り返るようにする。 |
| | | 【まとめ】菊池南中のよさ「〇〇〇〇」について、お互いの考えを一つにまとめるには、話し合いの中で、互いの意見を（【課題解決に向かうキーワード】を活用して記述）して整理することが大切である。 | |
| 終末 | 10分 | 7 本時の自己評価と振り返りを行う。 ・ロイロノートに記述して振り返る。 ◇班のみんなの意見をよく聞きながら共通点を見つけて一つにまとめることができた。（B） ◇班の話し合いに積極的に参加して相手の意見を話し合いの目的を意識しながら聞いたり、質問をしたりすることができた。（A） | ○ESDの視点を意識して、自身の学びを振り返り、全体でも共有できるようにする。 【ESDの評価基準（B評価）】 ○話し合っただめてるために、言葉による見方・考え方を働かせながら、互いの考えの共通点や相違点に着目して自分と他者の発言を結びつけたりするなど、発言を吟味しながら進んでコミュニケーションを取っている。 |